

北野・西陣でつづられ広がる伝統文化

認定理由

学問の神様で知られる北野天満宮を中心に信仰を集めてきた「北野」と世界に誇る織文化などを育んできた「西陣」。まちの魅力が多くの
人々をひきつけてきた北野・西陣には、人々の深い信仰心によって守られてきた社寺やまちなみのほか、西陣で培われたものづくりの文化や
それを支えてきた地域コミュニティ文化、職住一体の住まいの中で育まれた暮らしの文化、さらに、北野天満宮の門前茶屋を起源とし、西陣の
繁栄とともに発展した上七軒の花街の文化など、多様な市民文化がいまも息づき、京都を象徴する文化の一つとして、地域を越えて広がっ
ている。

主な構成遺産

北野天満宮 (MAP①)



北野天満宮 (本殿)

学問の神様として信仰を集める北野天満宮は947年に創建。祭神は菅原道真。1587年、豊臣秀吉が北野大茶湯を催行。1603年、出雲阿国がかぶき踊りを興行したことから、歌舞伎発祥の地とされる。豊臣秀頼が造営した本殿は国宝。正月恒例の筆始祭・天満書は京都の冬の風物詩



天満書



ずいき祭り

五穀豊穡を感謝する北野天満宮の10月の例祭。京都の秋の風物詩。西ノ京瑞饋神輿は京都市登録無形民俗文化財

西陣織



多品種少量生産を特徴とする西陣で生産される先染の紋織物の総称。多くの工程を熟練技術者が丹念に作業。国指定伝統的工芸品。「京のきもの文化」は“京都をつなぐ無形文化遺産”



西陣織会館 (MAP⑦)

西陣織の工程や織物製品の展示、綴織の実演のほか、華やかな和装の魅力を紹介する「きものショー」が開催されている。

上七軒 (花街)



北野をどり



上七軒歌舞練場 (MAP②)

芸妓や舞妓が数々の伝統伎芸によりおもてなしをする文化が連綿と受け継がれるなど、京都の伝統文化が大切に守り続けられているまち「花街」。京都の五花街の一つ・上七軒では、毎年春に「北野をどり」が上七軒歌舞練場(京都市歴史的風致形成建造物)で開催。「京・花街の文化」は“京都をつなぐ無形文化遺産”

まちなみ



上七軒



西陣

京都で最も歴史の古いとされる茶屋町・上七軒には、門前町の賑わいと芸能文化の発展を通じ、優雅で落ち着いたあるまちなみが、また、西陣には、西陣織及び関連業が軒を連ね、地場産業を基盤に商工混合のまちなみが形成された。国登録文化財の町家もある。

今宮祭



今宮神社の5月の祭礼。西陣とともに町衆による「西陣の祭」として発展。京都の春の風物詩

大報恩寺 (MAP③) (千本釈迦堂)



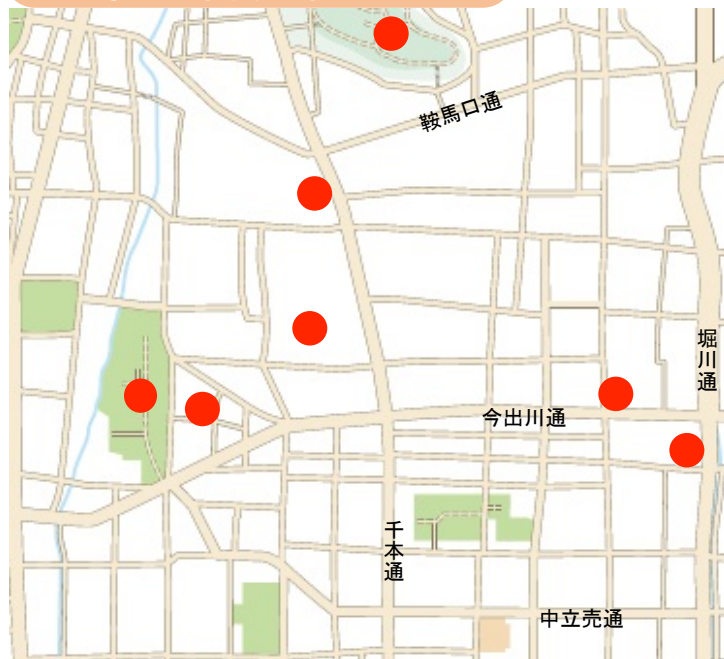
1227年創建。本堂は洛中最も古い寺院建築物で国宝。応仁・文明の乱においても、西軍総大将・山名宗全の特別な計らいから守り抜かれたと伝わる。毎年12月の大根焚き行事は、京都の師走の風物詩

引接寺 (MAP④) (千本ゑんま堂)



開基は小野篁。古来より精霊迎えの霊場として賑う。紫式部の供養塔と伝わる十重石塔(国重要文化財)や京都三大念仏狂言の一つ「ゑんま堂狂言(京都市登録無形民俗文化財)」などでも知られる。

北野・西陣界わいMAP



食文化



忙しい職人の間で広まった井やパン、北野名物の菓子、上七軒の花街とともに発展した仕出しなど、北野・西陣には独特の食文化が発展。「京の食文化」は“京都をつなぐ無形文化遺産”

船岡山 (MAP⑤)



船岡山は平安京造営の際、四神相応の玄武の地とされた。平安時代は景勝、遊興の地で、後に葬送の地となり、中世には山城が築かれ、応仁・文明の乱では西軍の陣が置かれた。国指定史跡

1914年築の本野精吾設計の旧西陣織物館。現在は約1000点の遺物を展示する資料館。入口横には、西陣碑。京都市登録有形文化財

京都市考古資料館 (MAP⑥)



注:上記の構成遺産は一例で、上記以外にも「北野・西陣」に関連する多くの文化遺産がある。